



「もうすぐ式が始まるよ」

4月7日に行われた昭栄小学校(高田孔平校長)の入学式での1コマです。今年度で閉校が予定されている同校。最後にして唯一の新入生が入って、全校児童5人での新学期がスタートしました。ドキドキの新生活が始まります。

(関連記事24～25ページ)

Public relations magazine

2014.5 No.717

てしかが

主な内容

- 今月は町税滞納整理強調月間です・・・②
- 総合サービス室は役場の総合案内窓口です・・・③
- 子育て支援に関するニーズ調査の結果をお知らせします・・・④
- 第72号町議会だより第1回定例会・・・⑧
- 入学式・入園式・・・⑭
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設・・・⑳

むかしむか史 (283)

てしかが歴史写真館¹⁵⁷



花の楽園 郷土の自然 2
～阿寒国立公園指定80周年～

カワユエンレイソウという弟子屈の地名の付いた植物を紹介します。

その名が知られるようになったのは1996年のことで、それまでは固有の名前はありませんでした。その地域に限定的に生育する植物を固有種といいますが、今のところカワユエンレイソウは川湯を中心に生育することが確認されています。誕生した要因は、硫黄山の噴気の影響、酸性土壌の影響、地熱によるもの、遺伝的なものなど諸説ありますが、定かなことは分かっていません。

カワユエンレイソウは春の風が心地よく感じる季節に、広葉樹が葉を広げる前の林床(森林の地表面)で花を咲かせます。種から花をつけるまで10年くらいの年月を要し、花をつけてから数十年をかけて茎を増やしていきます。森にはそれぞれの香りがあり、それは樹木や土・菌類などが発するものですが、不思議とエンレイソウの花が咲く森にはやわらかい香りが漂います。

カワユエンレイソウは川湯を中心に多くの群落を見ることができ、一番の花の見頃は例年5月下旬です。弟子屈では、他にオオバナノエンレイソウ・ミヤマエンレイソウなどが見られ、雄しべの花粉を入れる袋状の葯(やく)の大きさなどで見分けることができます。このように群落と種類の多さから、川湯はエンレイソウの楽園といえます。

草木は一度根付くと、一生その場所で光合成をして自ら養分を補い、自立的に何十年も過ごし、子孫を残します。エンレイソウはそよ風にゆらぐような姿をしていますが、そのゆるぎない生き方には生命の力強さを感じます。

※川湯エコミュージアムセンターでは、カワユエンレイソウの標本を展示して、見分け方などを案内しています。

てしかが郷土研究会(藤江)

2014.5
てしかが

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています